

新座市立 小中学校 ウィークエンド 架け橋プラン

先生たちの声
をカタチに！

本プラン実施の背景

新座市においては、令和4年夏に働き方改革に関する**教職員調査**を実施した。一人一人の回答を心理統計で分析したところ、新座市の教職員が望む働き方改革は、次の4つの着眼点であることが明確になった。

- ① **組織・運営の改善**
 - ② **デジタル化の促進**
 - ③ **授業以外の教育活動と研修の在り方の見直し**
 - ④ **年休取得のための環境整備**
- ①②③：ワークに関する取組
④：ライフに関する取組

この中でも、特に④**年休取得のための環境整備**に着目し、職務外の生活（**ライフ**）を充実してもらうことで、一層「**ワークライフバランス**」の均衡を図ることとした。

	月～木	金	土	日
1	通常授業・学級経営等	日課表の工夫による 下校時刻の繰り上げ	充実した ウィークエンド	放課後 部研会 活修議 等
2				
3				
4				
5				
6				
		1時間から 2時間程度の 年休を取得		

ねらい

金曜日に年休を取得しやすい環境を整え、金曜日夕方から週休日にかけての生活（**ライフ**）を充実させることで**心身のリフレッシュ**を図り、仕事（**ワーク**）の一層の充実につなげる。

内容

- 金曜日の日課表を工夫し、**下校時刻を繰り上げる**。
- **1時間から2時間程度の年休の取得を促進**し、週休日と合わせることで、週末のプライベートや余暇の時間が充実するようにする。
- 金曜日の放課後は、研修、会議等の恒常的な予定は計画せず、**各自の判断**で年休を取得したり、職務にあたりたりすることができるようにする。

期待される効果

- 同僚への気兼ねや請求することへのためらいがなくなり、**年休の取得率が向上**する。
- 年休を取得しなくても会議等がないので、**学級事務、教材研究等に専念**できる。
- 働き方改革への取組が評価されることで、**ブラックと揶揄される教職イメージの払拭**につながり、教職にエントリーする若者が増える。
- 翌週の職務の計画や金曜日夕方からの余暇の計画が立てられるので、**時間的・精神的な余裕**が生まれる。そのため、週末の過ごし方が大きく変わり、仕事にも良い影響を与える。

過ごし方の例 時にはのんびり旅行でも…。＜年休を取得し、金曜日夕方から1泊2日で近県を旅行する場合＞

金曜日			土曜日				日曜日	
～16:00	18:00	21:00	9:00	12:00	15:00	18:00	21:00	終日フリー
帰宅後、旅行に 出発	チェックイン ディナータイム くつろぎの時間		朝食 チェックアウト ゆっくりと観光			交通ラッシュなしで、 のんびり帰宅		ゆっくり休息 PLUS ONEの活動も可能
メリット ・金曜日の宿泊プランは、土曜日よりも比較的 費用が安い 。 ・金曜日から旅行に行くことで、観光のメインが土曜日午前となるので 混雑が避けられる 。 ・旅行の日程を金曜日に前倒しにすることで、 日曜日に時間的なゆとり が生まれる。								

過ごし方の例 金曜日は、自分の**ワークスタイル**、**ライフステージ**に応じて仕事をする。＜年休を取得しない場合＞

その週の**仕事は金曜日までに**終わらせ、週末をゆっくり過ごしたいAさん



急な対応があると、計画的に仕事が進まないこともあります。
この時間を使って、採点などの**学級事務**が滞らないようにしています。

翌週の**授業の計画を立て、教材研究**をしっかりと行いたいBさん



会議等の予定が組まれていないので、集中して**教材研究**に取り組みます。
週末に持ち帰る仕事が減り、生活にゆとりが生まれます。

自己研修の時間にあて、**新たな教育技術の習得**にチャレンジしたいCさん



教育技術を高め、もっと楽しい授業をつくりたいです。**新しい知識や情報**にふれると、教員としての意欲がいっそう高まります。

教育委員会の役割

- ▶ 希望する教職員が充実した週末を送ることができるよう、関連業者にはたらきかけて、余暇などのプランを充実させる。〈例〉新座市の教職員に限定された □金曜宿泊優待プラン □金曜ディナー特典 等
- ▶ 社会教育や児童福祉関係団体に趣旨を周知し、下校時刻が早まった児童生徒の受け皿づくりに積極的に取り組んでもらう。
- ▶ 保護者に働き方改革の趣旨を周知して理解を求めるとともに、学校教育に依存する風潮を改め、家庭教育の役割を再認識してもらう契機とする。